



定期総会は肃々と…



新旧理事メンバーのみなさん



協賛企業・団体に感謝状を授与



## 『2009年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・アイダホ』に参加



日本選手団入場



開会式の聖火



結団式。応援の池田理事長と

2月7日から2月13日まで、アメリカ・アイダホ州で、「2009年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・アイダホ」が開催されました。世界の100カ国・地域から2,000人以上のアスリートが参加して、アルペンスキー、クロスカントリースキー、スノーボード、スノーシューライディング、フィギュアスケート、スピードスケート、フロアホッケーの7種目に日ごろの技を競いました。

日本選手団はアスリートと役員・コーチ87名。2月2日に結団式を行い、成田空港から

詳しい情報は、SON 東京ホームページ (<http://www.son-tokyo.or.jp>)をご覧ください。

認定NPO法人SON東京の  
2009年度定期総会が、3月7日  
(土)午後、東京YMCA社会体育・  
保育専門学校の演習室で開催さ  
れました。

第1部は、昨年度にご協賛・  
ご協力をいただいた企業・団体  
の方々に感謝の気持ちを込めて、  
表彰状をお贈りしました。第2部  
は定期総会で、池田理事長のあ  
いさつ、2008年度の事業報告及  
び収支計算書の承認と2009年

度の事業方針・計画案及び収  
支予算書の承認、役員の選任が  
行われました。また第3部は、退  
任役員・委員長へ感謝状を贈呈、  
各委員長には委嘱状が授与さ  
れました。

総会の後、「2009年スペシャル  
オリンピックス冬季世界大会・  
アイダホ」に参加した東京選手  
団のアスリートとコーチが現地  
での様子を報告、応援のお礼を  
述べました。

### <新任理事のご紹介>

#### ●新任理事

梅村 郁 丸磯建設(株)代表取締役会長 SON東京ボウリングコーチ  
岡松 武司 財団法人日本陸上競技連盟 監事  
鍛治 良明 弁護士 東京弁護士会監事  
秦 政 (株)アドバンテックマネジメント顧問  
濱本 恒男 丸の内トラストタワークリニック院長  
廣田 光司 財団法人東京キリスト教青年会総主事  
細田 正実 SON東京情報管理委員長(ファミリー)

#### ●任期満了理事

新井 廣和、水谷 良、峰岸 和弘  
長年、SON東京の役員としてご尽力を賜り、心より感謝いたします。

第6回 ウォーク&ランフェスティバルに  
ご協賛いただきました。

UBSグループ



応援のファミリーのみなさん



開会式前に アルペンスキー競技の選手とコーチ 競技を終えて。小松順子コーチと太田さん



中央が柳下沙也香さん



かっこいいな、近藤剛さん

表彰後、  
近藤さんと竹村京子コーチ

アルペンコーチ陣



表彰式で。太田雄大さん



表彰式で。藤幸太郎さん

### ◆スピードスケート

#### アスリート:近藤 剛さん

僕はアイダホの世界大会にスピードスケートで出場しました。外国の選手はとても速かったけど、がんばって777mのレースで銅メダルを取りました。日本の仲間や外国の選手と友達になって、うれしかったです。

#### ファミリー:近藤 昭彦さん

この大会に参加させていただき息子も一回り大きくなつたような気がします。仲間たちとの共同生活やホストタウンプログラムなど日常ではできない体験をさせていただきました。現地ボランティア、日本のスタッフ、ホストファミリーに心からお礼を申し上げます。

#### コーチ:竹村京子さん

ホストタウンのワイザーという町では、たくさんの人達に温かく迎えられ、楽しい時間を過ごすことができました。

ボイジ市内で行われた大会では、目を輝かせながら、生き生きと、たくましく滑走するアスリートの姿に「頑張れ～！」と応援に力が入ります。近藤君は、昨年のナショナルゲーム・山形と比べて見違えるほど速いタイムでゴールし、すばらしい結果を残すことができました。日頃、一生懸命練習した成果が実った瞬間です。

一方、思いのほか結果が残せず、悔しさに涙を流したアスリートに「次、頑張ろう！」と励ます姿がありました。みんなの心の中にきちんと仲間意識が芽生えていると感じたとき、この場に一緒にいられた喜びと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

### ◆アルペンスキー

#### コーチ:小松順子さん

アルペンスキーの会場はボイジから車で約1時間のところにあるスキー場「Bogus Basin Ski Resort」。毎朝5時起床で凸凹道をバスに乗り、スキー場へ。皆はスキー板を履いて滑っていますが、私はビギナー＆ゴール地点担当だったのでスノトレで雪の上を走り、寒いと思ってたくさん使い捨てカイロを持って行きましたが、1回も使わず、逆に汗だくで

した。期間中はかなりハードスケジュールでしたが、それ以上に貴重な体験と感動がありました。東京代表アスリートも大活躍!太田雄大君は日を追うごとに上達し、SG(スーパー大回転)では銅メダル、最終日のSL(回転)ではベストの滑りができました。藤幸太郎君は、「こげー、こいでー」と応援の声が聞こえたのか、ゴールまであきらめずに滑り、SLで見事銀メダル獲得。柳下沙也香さんも前日の夕食、苦手な野菜に自ら挑戦し、そのパワーが滑りにも発揮され、SLで銅メダル獲得。本当に皆素晴らしい滑りを見せてくれ、表彰式には感動で胸がいっぱいになり、涙が止まりませんでした。

また、各国のアスリートやボランティアの方々とふれあうことができ、笑顔いっぱいでの帰国ができました!今から思うと、毎日ずっと笑顔でいらっしゃいました!

#### アスリート:藤幸太郎さん(記:ファミリー藤俊介さん)

冬季世界大会・アイダホではアルペンスキーに出場した長男幸太郎はもとより応援ツアーリーに参加した私と家内、幸太郎の妹、家内の妹の4人も大きな喜びと感激を十分に共有することができ感謝、感謝の一言です。

アイダホ州はスペシャルオリンピックス世界大会一色で、多くのボランティアが暖かく迎えてくれました。幸太郎はスーパー大回転5位、大回転4位でしたから、メダルを諦めかけていた最終日の回転で銀メダル。表彰台で喜ぶ幸太郎を見て目頭が熱くなり、改めて古希の親をこれほど喜ばせ感激させてくれた孝行息子に心の底でお礼を言わざるにはいられませんでした。

#### アスリート:太田雄大さん

アイダホではホストファミリーのウォーカー夫婦にとてもお世話になりました。奥さんのルージーンさんが作ったパンがとてもおいしかったです。

競技では3種目に参加しましたが、大回転が一番楽しかったです。でも、スーパー大回転で銅メダルを取りました。初めて参加する競技でしたが、意外と平気でした。

米国は初めてで、ポテトはおいしかったで

す。ホントのステーキはもっとおいしかったです。アルペンスキーは楽しいです。これからもずっと頑張ります。

#### アスリート:柳下沙也香さん&ファミリー

SOの冬季世界大会に行ってきました。まず驚かされたのが、米国のSOに対する認識の深さと地に着いたボランティア精神です。開会式での自由奔放な盛り上がり、これから素晴らしい何かが行われるであろう事をうかがわせる雰囲気です。

広大なゲレンデでアルペンスキーの競技会が開かれました。世界中のアスリートが力の限り滑ってきます。コーチやファミリーは全てのアスリートに声援を送っています。表彰式では、順位に関係なく全員が体全体で喜びを表していました。最終日では、涙、涙、涙の表彰式でした。

#### SON東京には、2つのメールマガジン

これまでSON東京・広報委員会および事務局では、さまざまなイベントへのご招待情報などを掲載した「SONTくん通信」というメールマガジンを、主にアスリートおよびファミリー向けに配信してきました。事務局に多く寄せられるご招待の中には、申込期間が短く、印刷物などでお知らせできないものがたくさんあるからです。

このメールマガの存在をご存じない方、また、知っているけどアドレスを登録されていない方がいらっしゃいましたら、ぜひ、この機会に配信申込みをしてください。お得な情報満載ですよ。

また、この3月からはボランティア向けのメールマガジンの配信も始まっています。こちらはボランティア委員会が中心となって記事を制作し、さまざまなボランティア関連イベントのお知らせなどを流します。ボランティアの方は、ぜひ、こちらへの登録をお願いします。

いずれもお申し込みはoffice@son-tokyo.or.jpまで、受け取りたいメールアドレスをお知らせください。よろしくお願いします。

## チャリティ・アート・オークション

in ドイツ銀行グループ



額に入り展示されたアスリート達の作品に見る

昨年12月、スペシャルオリンピックスを支援してくださっているドイツ銀行グループが、SON 東京のアスリートの絵画を使ったチャリティ・オークションを開催してくれました。

ご提案いただきながら開催まで2週間と時間がなかったこともあり、絵画の提供をお願いできたのは事務局で連絡が取れるアスリートのみの6人だけでした。それでも全部で20点近い絵画が集まり、同社内の公共スペースでの陳列、インターネットによるオークションを行っていただくことができました。

その結果、すべての絵画を同社社員の

方々に落札していただき、30万円を超える額のご寄付をいただきました。この場を借りまして、絵画をご提供くださったアスリートの皆さん、すばらしい機会をご用意くださいました。ありがとうございました。

今年も、同様の企画を検討して頂いていますので、もし絵画を描きためている方、SON 東京のためにそれを提供してもいいという方がいらっしゃいましたら、ぜひ事務局までご連絡ください。また、SON 東京のオリジナルグッズとして“絵はがきセット”的作成も企画中ですので、そちらのご協力もぜひお願いします。

## ★★★ ★ 創立15周年記念イベントのお知らせ ★★★★★

皆さんは、SON 東京の誕生日をご存じでしょうか。そう、1994年10月22日です。つまり、今年で創立15周年を迎えることになります。ここまで順調に年を重ねてこられた

のは、ひとえにアスリート、ファミリー、ボランティア、支援くださっている企業・団体の皆さまのおかげであると思っています。そこで、そのお礼とお祝いをかねて今年は、下記

のような各種イベントを計画しています。それぞれ多くの方にご参加いただき、みんなで15周年を迎えることの喜びを、分かち合いたいと思います。ふるってご参加ください。

- ★7月20日(祝)『第1回 SO 日本 関東・東海北信越ブロック ボウリング競技会』 東京ポートボウル(田町)
- ★9月20日(日)~22日(祝)『SON 東京 バスケットボール競技会』 国立オリンピック記念青少年総合センター(参宮橋)
- ★10月25日(日)『第7回ウォーカー・アンド・ランフェスティバル』 会場未定
- ★12月6日(日)『記念式典&大運動会』 駒沢公園総合運動場(世田谷)

また外部の方々が下記のような15周年記念イベントを計画してくださっています。

- ★10月16日(金)「潮田益子チャリティー・コンサート」 津田ホール(千駄ヶ谷)
- ★11月30日(月)「チャリティ・ゴルフ」 我孫子ゴルフ倶楽部(我孫子市)
- ★期日未定 「チャリティ・ボウリング」 東京ポートボウル(田町)

## WORKING ATHLETES

～働くアスリートたち～

第5回 高中 祥宏さん(31歳)

みなさまご存知のクロネコヤマトの「宅急便」。その宅配事業を展開する「ヤマト運輸(株)」は、障害者雇用とともに、クロネコメール便配達業務を小規模作業所などに発注し、また創業者の小倉昌男氏が設立した「ヤマト福祉財団」でスワンベーカリーをはじめ、さまざまな障害者自立支援を行っています。今回は、高中祥宏さんが勤務するヤマト運輸(株)西東京第二物流システム支店を訪ねました。

## ●仕事も生活も余暇も充実!

西東京第二物流システム支店は、昭島駅と拝島駅から数キロの多摩川沿いにあり、書籍の発送業務などを行っています。高中さんの担当は、封筒の宛名のラベル張り、仕分け作業など。「荷物の行き先を間違わないように気をつけています」

高中さんは通信制高校、東京障害者職能力開発校を卒業後、他企業を経て、2000年にヤマト運輸に就職しました。町田市のグループホームからJR横浜線で八王子駅



太田支店長(左)、高中さん、十枝内グループ長(右)

へ。そこから会社の送迎バスで通勤しています。「グループホームは楽しいです。友達が一緒だから」

休日は、SON 東京のさまざまなプログラムに参加。東京マラソン(10km)にも2度出場しました。「一番好きなのはスピードスケート、次が陸上の長距離……、水泳も好きです」

仕事も、グループホームでの生活も、スペシャルの活動も充実。質問に応じるとすぐ持ち場へ戻り、きびきびと作業を続ける姿からは、責任感が十二分にうかがえました。

職場の上司、昭島物流センター作業グループ長の十枝内啓三さんは「まじめです。自分から率先して仕事ができますね」

## ●十分、戦力になっています!

支店長の太田かつみさんは、昨年4月に現職につきました。西東京第二物流システ

ム支店で働くのはアルバイトも含めて約80名。その中に知的発達障害などの人たちが10名います。

「普通に仕事をしていますので、全員面接をするまでは誰に障害があるのかわかりませんでした。面接で『仕事は楽しい』と言われたときは、うれしかったですね。きちんと教えれば、手を抜かずに完璧に仕事をしてくれますから、十分に戦力になっています」

勤続10年以上と、高中さんの先輩もいます。

「高中君は、まわりの状況を見ながら、仕事ができます。朝礼では一番前でしっかり体操をしていますから、体を動かすのが好きなことが伝わってきます」

「ヤマトグループ」は、企業姿勢の1つに「地域から信頼される企業」を掲げ、「障がいのある方の自立を願い、応援します」とうたっています。SON 東京のアスリートも何人も働いています。このような大企業がもっと増えたらうれしいですね。

(スピードスケート、陸上競技プログラムなどに参加)



ラベル貼りも手際よく



## VOL.13 「ダンスプログラム」

●アスリート：山田 結香



山田 結香さん

### 「ダンスプログラムに参加して」

●ファミリー：山田真由美

スペシャルオリンピックスのプログラムに参加して、ちょうど1年になります。スポーツプログラムとともに、このダンスプログラムにも参加しています。

学校を卒業したばかりで、学校の時と同じように友達に会ったり、体を動かしたりする機会を求めての参加でした。月1回の練習はもちろん、夏の舞台発表の場も学校の文化祭の延長のようで楽しいイベントとなり、また、ウォーク＆ランフェスティバルにダンスで参加したこととても有意義な経験となりました。

アスリートたちは自由な雰囲気の中、懐かしい曲や最先端の曲に合わせ体を動かしています。実際に真似をしてみると、いろ

いろな筋肉を使っていたり、ステップや振りが難しかったりするのですが、各々のペースで自然に楽しみながら身につけているようです。

好きな曲を持っていったり、先生に日常あったことを報告したり、得意な曲がかかると自然に前に出て行ったりと、それぞれの楽しみ方をしていますが、このプログラムはなんといっても、大須賀先生や関口さんの笑顔とお人柄とパワーに魅せられて、アスリートやファミリーが集まっているようです。

努力や成長も大切ですが、いっとき、ただただ純粋に無理なく自由に楽しむ時間も貴重なのだと感じさせてくれるプログラムです。清々しさと元気をいただきながら、月1回のプログラムを楽しんでいます。

### 「体を動かし、心からの笑顔に」

●主任コーチ：大須賀久子

こんにちわ!自分の健康のために始めた体操、ピアダンスですが、いつしか伝えたいという意識に変わっていきました。より多くのの方々と体を動かしたい、その思いが通じたのか、スペシャルオリンピックスの皆さんとのご縁ができまして、現在に至っています。

リズム、ストレッチ、腹筋、背筋を取り入れ

た上で、堅苦しい体操ではなく、楽しく動けるように、いろいろな曲で行っています。呼吸を整えて、心と体を癒し、触れ合うことでコミュニケーションがとれて、ひとつの和が生まれることを願っています。音楽に合わせ、音を聞きながら、リズムに合わせて体を動かすことで、交感神経を優位にすることができます。そして、前向きな意欲が出て、それが行動力につながります。

エネルギーを発散することで、ストレスをやわらげて、心に満足感と達成感を感じ、笑顔が生まれる。このような思いが実現すれば良いなあーと思いながら続けております。

ここ数年の積み重ねによって、今ではみんなさんの心からのたくさんの笑顔に出会えて、とてもうれしく思っております。ありがとうございます! これからも、みなさんとのかかわりを大切に、「明るく楽しく」をモットーに、健康でいる大切さを感じながら、あたたかい雰囲気で続けていきたいと思っております。興味をお持ちの方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。



大須賀コーチ

### <今後の予定>

- 3/29(日) ゼネラルオリエンテーション&アスリート理解
- 4月~5月 ボランティア体験月間
- 4/25(土)~26(日) 東海・北信越 フロアホッケー競技会
- 5/23(土)~24(日) 関東プレーンズSO大会
- 5/30(土)~31(日)、6/6(土) 東京都障害者スポーツ大会
- 7月上旬 認定コーチ研修会

### プログラムへの参加申込みが、インターネットや携帯電話からできるようになります

SON東京では現在、会員情報などのシステム化を着々と進めています。これが完成すると、プログラムへの参加申込みもインターネットや携帯電話(i-mode、EZweb、softbank)を使ってできるようになります。

今期の申込みには間に合いませんが、近いうちに別途その操作方法などをお知らせいたします。また、マニュアルだけではわからないという方には、講習会なども開く予定ですので、楽しみにお待ちください。



ヤナセはスペシャルオリンピックスを応援しています。

クルマはつくりない。クルマのある人生をつくっている。**YANASE**  
株式会社ヤナセ www.yanase.co.jp

### 法人・団体・個人会員募集中

SON東京の活動は、法人・団体および個人の会費・寄付、ならびにチャリティ事業などによってまかなわれています。何卒多くの皆様のご支援をお願い申し上げます。

- 正会員 入会金 5,000円・年会費 5,000円
- 賛助会員 (一口) 年3,000円~  
(旧準会員)

郵便振込口座: 00140-1-723232

※法人団体会員については、事務局までお問い合わせ下さい。